



5月の園だより



令和8年5月1日

目黒区立八雲保育園 園長

新年度を迎えて一ヶ月が経ち、新入園児も進級した在園児も保育園での新しい生活に慣れてきました。4月当初は新しい担任に抱っこされ、小グループで過ごす中で、担当保育士と好きな遊びをじっくり取り組むことで安定し、自分から関わるようになり、保育士が笑顔で「どうしたの」と声をかけると嬉しそうに話し始める姿が見られました。また担任と保護者の方が仲良く話している様子を見て、「お母さん、お父さんは先生と仲良しなんだ」という安心感から保育士と子どもの関係がぐっと縮まったように思います。子どもは“信頼できる大人との繋がり”のもとで活動の範囲を広げていき、自立に向かうようです。小さな子どもたちが保育園に少しずつ慣れていく中で、保護者の方々や子どもたちに関わる大人の存在が子どもの情緒の安定にはとても大切だということを改めて感じました。

今月と来月にクラス懇談会を予定しています。入園、進級後の子どもたちの姿や一年間の保育目標、子どもの育ちについてお話させていただきます。また皆さんで日頃の育児の意見交換ができるように懇談の時間を設けて、お子さんの成長を共有する楽しい時間にしたいと思います。お忙しいとは存じますが、是非参加していただきますよう宜しくお願いいたします。日々の子育ての疑問や保育内容に関することなども担任や事務室まで気軽にお話してください。保護者の方々と保育園職員が一緒になって子どもたちを育てていく保育園でありたいと思います

5月の行事予定

2歳児クラス懇談会
5歳児クラス懇談会
1歳児クラス懇談会
身体計測 避難訓練

6月の行事予定

4歳児クラス懇談会
0歳児クラス懇談会
3歳児クラス懇談会
やくもまつり（全園児）
身体計測 避難訓練

園舎紹介

扇形の不思議な形の八雲保育園。

そんな園舎の中で子どもたちがどのように過ごしているかをご紹介します。

テラス・園庭 めだか組（0歳児クラ

初めての保育園生活に少しずつ慣れ、保育士がそばで見守る中、保育室やテラス、そして園庭へと安心して過ごせる場所が広がってきている子どもたち。抱っこをしながら保育士が園庭の木の葉を少し揺らすと、その様子をじっと見てそっと手を伸ばします。葉をぎゅっとつかみ夢中で揺らしていたその時、強い風が吹きました。驚きで目を丸くした姿に「びっくりしたね」と保育士も驚いた表情を見せると、目が合い思わずニコリ。心が通い合い、一緒に笑顔になった瞬間でした。表情やしぐさ、声などで伝えてくれる様々な気持ちに共感しながら信頼関係を深め、安心して遊びを楽しめるようにしていきます。



園庭砂場遊び あひる組（1歳児クラ

園庭の砂場はあひる組の子どもたちのお気に入りの場所です。

保育士が砂を洗面器に入るとシャベルですくったり、手で握り感触を確かめています。保育士が型抜きした砂を手で握ったり、とんとんと切る真似をするのも嬉しそうです。2歳クラスの友達が砂場に山を作っているときは、上を渡らせてもらって「おとっと」とバランスをとって楽しんでいます。砂場だけでなく、園庭を探索して楽しい遊びを見つけ、保育士と一緒に楽しんでいます。



園庭タイヤ遊び らっこ組（2歳児クラス）

よじ登るタイヤの橋を保育士が作ると、子どもたちは登り始めます。橋には凸凹や穴があるので、どこに手や足を置いたら良いか考えています。友達の姿を見ていた子もすぐに続いて橋を渡り始め、嬉しそうに友達の後ろを進んでいます。着地した時に「上手に渡れたね」と声をかけると2人ともニコリと笑って頷いていました。保育士が仲立ちしながら友達と同じ遊びをしたり、関わって遊ぶことを楽しめるようにしていきます



3歳児室 ペんぎん組（3歳児クラス）

積み木を高く積んで階段を作る遊びに夢中です。高くなればなるほど慎重に積まないと倒れてしまうので、「そーっとやってね」と声を掛け合いながら、友達と交代で積み木を積んでいます。「倒れそう」「こわい、こわい」と言いながらもわくわくしている様子が表情から伝わってきます。途中で階段が崩れてしまうと「うわー」と声があがりますが残念そうではなく、すぐに「もう一回やろう」「さっきより高くしよう」と積み木を手に取り、やる気満々な姿が微笑ましく、また頼もしく感じています。



フリースペース いるか組（4歳児クラ

フリースペースに出ると、カプラなどの積み木やレールなど、目新しい玩具がたくさんあり、嬉しそうに手に取って遊んでいます。これまであまり使っていなかったカプラにも興味を持ち、高く積み上げたり、囲いや塔を嬉しそうに作る姿が見られています。作ったものに動物積み木を組み合わせ動物園作りが始まりました。「こっちはきりんさんのおうちにしよう」「じゃあ、こっちはどうしようか」と、イメージを膨らませ、作りながら友達とのやりとりを楽しんで遊んでいます。これからも、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じていけるように、子どもたちのイメージや遊びを見守りながら、一緒に遊んでいきたいと思えます。



3階ホール しろくま組（5歳児クラ

。今までは外野が中にいる人にボールを転がし当てられたら終わりだったゲームでしたが、子どもたちに新しいルールを提案をしました。「2チームに分かれて当てられても外野から中の人を当てるとまた中に戻れるというのはどう」というと「やったー」「よっしゃー」と喜んでいます。ボールから逃げていた姿から自分からボールに向かっていくことが増えました。

これから作戦なども話し合いながら楽しんでいきたいと思えます。

